

経営比較分析表（平成30年度決算）

山形県米沢市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上~400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	36	対象	ド透I訓	救臨輸
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
80,927	27,398	非該当	7:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン(放射線)診療

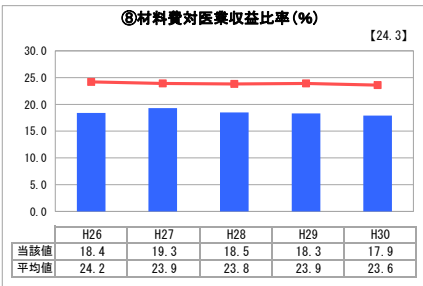
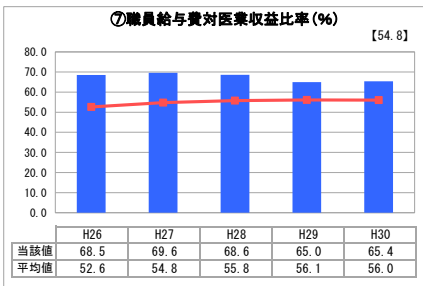
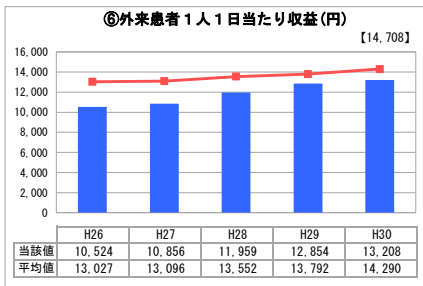
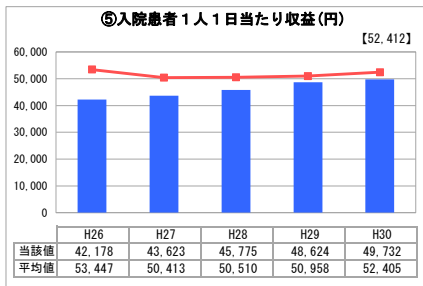
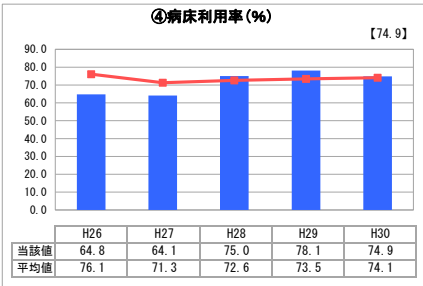
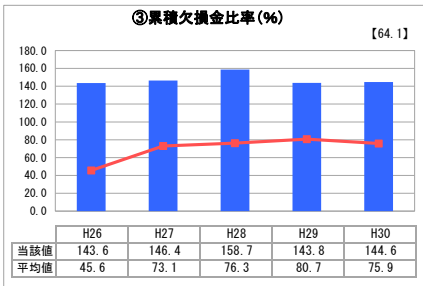
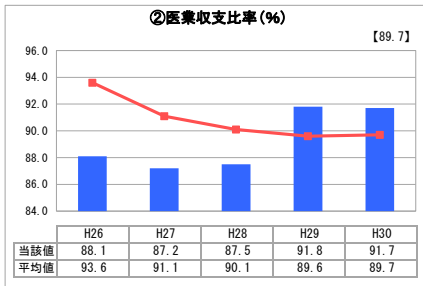
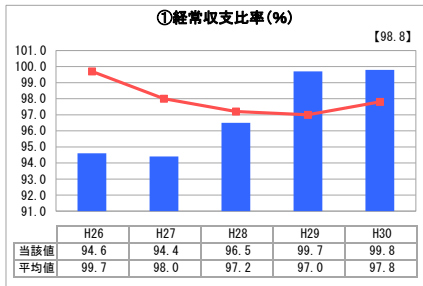
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
322	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	322
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
322	-	322

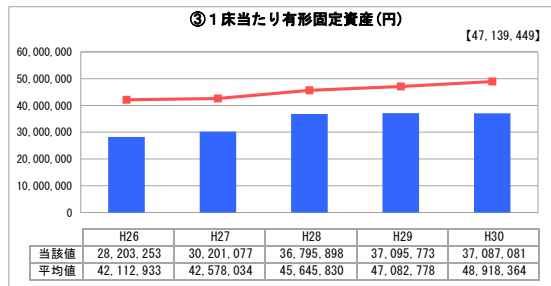
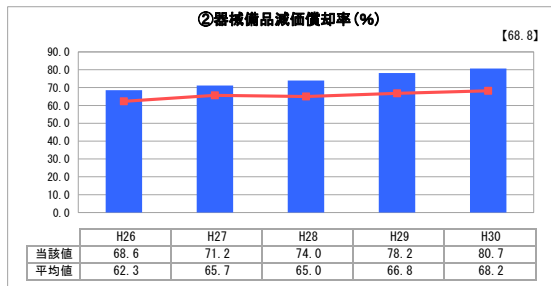
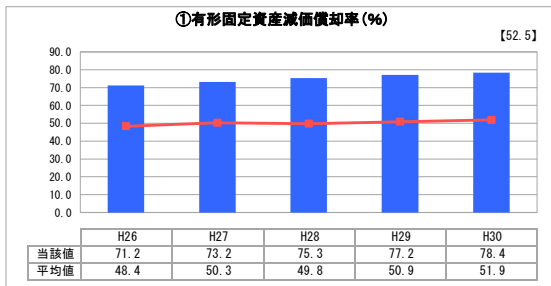
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-年度	-年度	-年度

I 地域において担っている役割

当院は、置賜二次保健医療圏の基幹病院として、主に急性期医療を提供している。地域では、二次救急医療機関として、市の病院群輪番制に参加している。

また、民間医療機関による提供が困難な高度医療、救急、小児、周産期等の不採算部門の医療を提供するとともに、臨床研修病院としての教育機関の役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率(①)は前年度を上回った。しかし、医業収支比率(②)が前年度を下回り、累積欠損金比率(③)は前年度を上回ったため、更なる経営改善を必要とする。

病床利用率(④)は、類似病院平均値を上回ったものの、前年度の数値を下回った。入院・外来患者1人1日当たり収益(⑤・⑥)については、毎年度増加傾向にあるものの、類似病院平均を下回っている状況である。

職員給与費対医業収益比率(⑦)については、依然高い状況が続いている。材料費対医業収益比率(⑧)は、平成27年度から数値が少しずつ下がっており、今後も継続していきたい。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率(①)・器械備品減価償却率(②)ともに年々増加傾向にある。また、類似病院平均値より高く、病院の老朽化が進んでいる。

1床あたり有形固定資産(③)は、前年度よりも減少し、類似病院平均値より低い水準にある。当院では令和5年度までに新病院を開設する予定であり、それまでは固定資産への投資を必要最低限としていく方針である。

全体総括

収支の面では経年比較で改善傾向にあり、前年度より赤字幅は減少しているが、今年度も赤字決算となったため、依然として債務超過の状態が続いている。

当院では令和5年度までに新病院開設を目指して事業を進めている。円滑に事業を進めるため、今後は債務超過の状態を解消するだけでなく、安定的に黒字にしていける必要がある。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。